

会員のひろば

題字：森 和恵

◇『育ちと学び』の「若者のひろば」の、丸木綾香さんの文中の「高校を卒業し、就職してから学べるチャンスが再び訪れるなどと思ったことはなかった。大学に行って介護について学べたこと、今の仕事ができることを幸せに思う。」彼女が、最後に、このように思えるようになったのは、船橋先生との信頼関係の中で育まれてきた、色々な経験の中で感じられるようになった言葉なのだと思います。

だれもがこのように仕事について幸せを感じられる社会となること、また信頼出来る人間関係と出会えることを願います。議案書のスタジイ楽書会の作品と内容も見ました。「自らの表現方法を模索する」道という文に感銘しました。

(高崎市・二口孝絵)

◇何時も豊かな『育ちと学び』を送っていただきありがとうございます。私も共に活動に参加できた時代を楽しんでいます。今後とも、群馬の「子育て育ち・幼児から青年期まで」そして様々な人達を結びつける会の活動を発展させて下さい。

さて、前から報告していました「高校生―17

才は世界史をつくる」を、やっと年末に高文研から刊行する予定で準備を進めています。皆さまに読んでいただき、高校生・青年・教師にひろめていただければ幸いです。私の人生の終活としても。「PCC報告」をのりこえ、青年たちに「未来」を。それは私達世代の責任です。がんばりましょう。

(館林市・守隨吾朗)

◇桐生一高をやめて、ずいぶん長い年月がたっしてしまいました。先月まで市内で介護士をしていましたが、だんだん私も体が言うことを聞かず、八月で退職させていただきました。介護士という仕事で、日本の家族関係がいかにこわれているかということ、自分もこうなっていくのだということをやいやになるほど知らされました。『育ちと学び』には、なつかしい名前がたくさん出てくるので楽しませていただきました。ありがとうございます。

二〇二二年三月でやめさせていただきます。

(桐生市・小池ふみ)

◇日々ニュース報道に接していると、暗澹たる気持ちになります。政治家、有名人の差別発言、税金の不透明な使われ方、不正…。それらは「この国はどうなってしまうんだ」そして「子ども世代へまともな社会を用意してやれるのだろうか？」という気持ちにつながります。ここ数

年、そんな気持ちがどんどん強くなってきています。

『育ちと学び』を読むと、そんな気持ちがやわらぎます。おかしな状態になっていく社会において、必死に誠実に丁寧に自分の手で社会を立て直しに頑張っている人々が多々登場するからです。「頑張っている人がいるのだな。自分も頑張ろう」と元気づけられます。このような冊子を定期的に発行されるぐんま教育文化フォーラムにも敬意を表します。これからも期待します。

(高崎市・成瀬雅俊)

◇皆様お元気ですか。小生はどうやら元気です。船橋聖一というビッグネームに驚いて記事を読みました。たいへん有益でした。高校野球で有名な高崎健康福祉大学について知識を得ました。また一人の女性が生きがいのある職業を見つけて生きがいのある人生を歩むことができたこと知って、小生もしあわせでした。今後とも高校生・若い人に良いアドバイスをしてください。

(渋川市・中村幸生)

*I'm almost 100,
and feel so fine!*

